（4） 協議会･幹事会並びに各部会の令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画について

兵庫県がん診療連携協議会･幹事会関連

項 目	内 容
令和4年度の活動報告	○ 令和 4年 4月 7日（木） 第17回 兵庫県がん診療連携協議会（Web開催） ○ 令和 4年 6月16日（木） 第1回幹事会 （Web開催） ○ 令和 5年2月 9日（木） 第2回幹事会 （Web開催） ○ 令和 4年11月26日（土） 兵庫県がん診療連携協議会主催 第12回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場 所：兵庫県民会館 9階「けんみんホール」（会場71名、Web 92名 参加） テーマ：肺がんと膵がんの最新医療について 担当病院： 姫路医療センター
令和5年度の活動計画及び今後の検討課題等	○ 令和 5年 4月13日（木） 第18回 兵庫県がん診療連携協議会（開催方式は未定） ○ 令和 5年 6月 8日（木） 第1回幹事会 （開催方式は未定） ○ 日程は「未定」 第2回幹事会 （開催方式は未定） ○ 令和 5年10月21日（土） 兵庫県がん診療連携協議会主催 第13回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 （開催方式は未定） 場 所：兵庫県民会館 9階「けんみんホール」 テーマ：「未定」 担当病院： 加古川中央市民病院

兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項　目	内　容
令和 4年度の活動報告	○ がん看護コアナース育成セミナーの開催 （兵庫県立がんセンター） 日程・内容：①令和4年 9月30日(火)「今、改めてがん化学療法中の“食”を考える」 ②令和4年10月 7日(金)「がん看護の“もやっと”を考える倫理カンファレンス」 ③令和4年10月14日(金)「事例検討」 開催方式：Web開催(Zoom)　参加人数：22名 ○ セミナーの開催 ・研修・教育部会セミナー　令和 4年10月 8日(土)　兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ ：「up to date 遺伝性腫瘍」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式 （会場 20名、Web 99名） ・放射線セミナー　令和 4年10月15日(土)　兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ ：「膵臓がんの診断と治療 －update－」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式 （会場 66名、Web 193名） ・検査セミナー　令和 4年11月 5日(土)　兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ ：「オンコロジー・エマージェンシー」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式 （会場 41名、Web 96名） ・薬剤師セミナー　令和 5年 1月21日(金)　神戸市教育会館　大ホール テ ー マ ：「消化器がん治療」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式 （会場 12名、Web 146名） ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第8回　兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日　時 ：令和 4年11月 6日(日)　Web開催(Zoom)　6チーム　25名 参加 テ ー マ ：「がん治療における妊孕性温存」 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど ・第12回ひょうご県民がんフォーラム　令和 4年11月26日(土) 兵庫県民会館「けんみんホール」 テ ー マ ：「肺がんと膵がんの最新医療について」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式 （会場 71名、Web 92名） 担当施設：姫路医療センター（持ち回り開催）
令和 5年度の活動計画及び今後の検討課題等	○ がん看護コアナース育成セミナーの開催（兵庫県立がんセンター） 日　時 ： 令和 5年 8月に 3日間（予定） テ ー マ ：「がん患者さんが死にたいと言われたとき（仮）」 開催方法：Webで開催 ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第9回　兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 テ ー マ ：「がん治療における妊孕性温存」 令和4年度と同一内容での開催予定 日程、開催方式は未定 ○ セミナーの開催 ・研修・教育部会セミナー　令和 5年10月 7日（土）　兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ ：「がん医療におけるAIの新展開（仮）」　開催方式は未定 ・放射線セミナー　令和 5年10月14日（土）　兵庫県民会館「パルテホール」 テ ー マ ：「（肝臓がん）」 タイトル詳細未定　開催方式は未定 ・検査セミナー　令和 5年12月 1日(土)　兵庫県民会館「パルテホール」 テーマ、開催方式は未定 ・薬剤師セミナー テーマ、日程、開催方式　未定 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど ・第13回ひょうご県民がんフォーラム　兵庫県民会館「けんみんホール」 令和 5年10月21日（土）　開催方式は未定 テ ー マ ：「未定」 担当施設：加古川中央市民病院 （持回り開催）

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項　目	内　容
令和4年度の活動報告	1　活動報告（詳細は議事録参照） **1）兵庫県がん診療連携協議会　情報・連携部会会議を年4回開催する** 第17回会議　令和4年6月17日(火) 13:00～15:30　WEB会議　69名参加 【内容】「早期からの就労支援」 ～長期療養者就職支援対策からできることを共有し取り入れよう！～ 第18回会議　令和4年10月8日(土) 10:00～16:30　兵庫県学校厚生会館3階　51名参加 【内容】認定がん専門相談員　単位研修「がん相談員として知っておきたいアピアランスケア」 ～がん患者さんの自分らしい生活を支援しよう～ 第19回会議　令和4年12月10日(土) 14:00～16:00　WEB会議 61名参加 【内容】がんピアサポーターとがん相談支援センター相談員との交流会・グループワーク 1）兵庫県ピアサポート事業の現状と課題 2）がん相談支援センターと連携してピアサポートを行っている先駆的な好事例紹介 3）兵庫県におけるピアサポート活動に関する意見交換 第20回会議　令和5年3月11日(土) 13:00～16:00　WEB会議　予定 【内容】各施設の質改善活動の評価、来年度の情報連携部会体制報告 **2）事務局会議の開催（毎月第二水曜日　14:30～15:30開催）** 第39回　令和4年4月13日　【内容】　新年度顔合わせ、6月部会内容検討、就労G活動計画の検討 第40回　令和4年5月11日　【内容】　6月部会内容（承認）、指導者研修参加者への資料提供、G進捗の共有方法 第41回　令和4年6月8日　【内容】　事務局会議年間予定確認、ピア関連アンケート検討、認定がん専門相談員の育成 第42回　令和4年7月13日　【内容】　指導者研修アンケート、ピア養成研修（見学者募集）、就労関連部会開催時期の検討 第43回　令和4年8月10日　【内容】　指導者研修アンケート（検討と承認）、ピアサポート活動アンケート結果 第44回　令和4年9月14日　【内容】　HWオンライン面談体制、12月部会内容検討、新整備指針概要確認、情報一元化項目の確認 第45回　令和4年10月12日　【内容】　12月部会内容（承認）、ひょうごがん患者連絡会との連携方法、ピア活用の現状と課題 第46回　令和4年11月9日　【内容】　HWオンライン面談キックオフMT、新整備指針からみた次年度の部会運営の検討 第47回　令和4年12月14日　【内容】　3月部会内容の検討、次年度の部会体制（検討） 第48回　令和5年1月11日　【内容】　3月部会、次年度の部会体制（確定）、各G活動最終評価と課題の共有、次年度に向けた準備確認 第49回　令和5年2月8日（予定）【内容】 第50回　令和5年3月8日（予定）【内容】 ※　毎回各小集団活動の進捗報告、検討を実施
令和5年度の活動計画及び今後の検討課題等	1　活動計画 **1）部会（日程および内容）** 6月　就労支援関連合同会議 9月　相談員研修（認定がん専門相談員単位認定研修） 12月　ピアサポーターとの交流会 3月　PDCA評価 **2）事務局会議** 開催日　毎月第2水曜日14:30～15:30 開催方法　WEB会議システム（ZOOM）※コロナ感染状況で検討する **3）就労関連** 就労の専門家と協働した両立支援および長期療養者就職支援の拡充 **4）ピアサポーター関連** ピアサポーター養成研修、フォローアップ研修の継続 養成研修修了後から、活躍までの道のりにかかるグランドデザインの着手と試行 ピアサポーター研修を開催できる人材（講師・ファシリテータ）の育成など **5）新整備指針への対応ができるよう小集団の再編** 既存の小集団を組み替えて新整備指針対応グループを追加した

資料⑫

2023 年　月吉日

兵庫県医師会長

殿

兵庫県がん診療連携協議会

幹事長　藤野　泰宏

情報・連携部会長　山川　宣

がん診療連携拠点病院紹介時に

『慌てて仕事を辞めないで。病院に相談できる場所がある』ことの周知のお願い

（案）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、がん診療連携協議会は、兵庫県内のがん診療連携拠点病院等で構成され、下部組織に情報・連携部会があり、県内拠点病院のがん相談支援センターの質向上を目的に活動しております。活動の１つに、がん患者に対する「就労支援」があります。第３期がん対策推進基本計画では、がんとの共生というテーマのもと、がん患者等の就労を含めた社会的な問題に取り組むことが明示されました。特に、治療と仕事の両立支援は重要なテーマとされており、早期離職防止に向けた取り組みに努めております。

そこで、がん診療連携拠点病院をご紹介いただく際に、先生方から患者さんへ「がんと診断されても慌てて仕事を辞めないで良いこと、病院に相談ができる場所があること」の２点についてお伝えいただけないでしょうか。

先生方のお言葉で、患者さんが早まって退職することを踏みとどまり、早期離職の防止につなげたいと考えております。

以上、ご来院の方々への周知についてご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

参考資料：厚生労働省 治療と仕事の両立支援ポスター

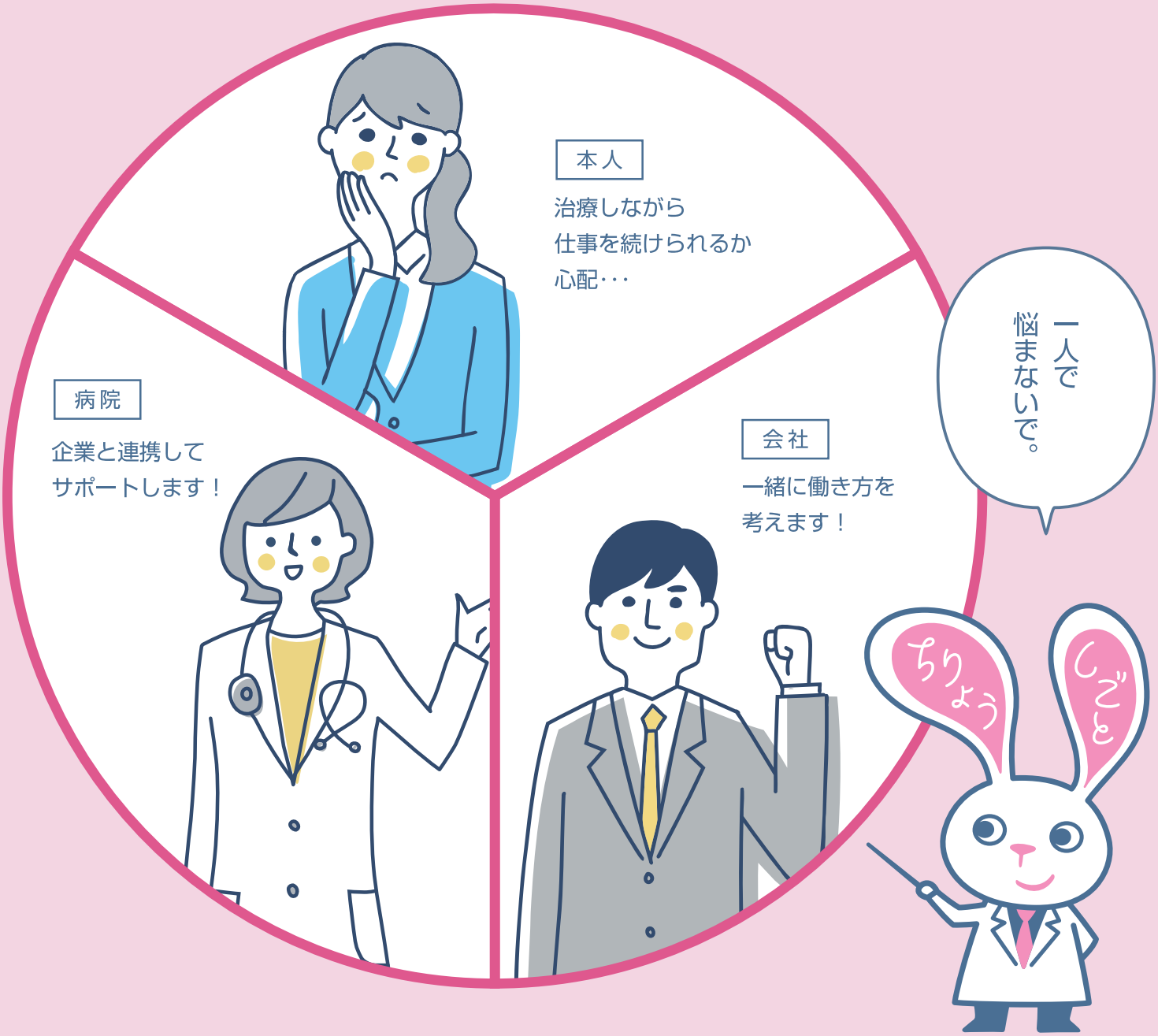
https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/download/

問い合わせ先

神鋼記念病院 がん相談支援センター（担当：安藤・原田）

TEL：078－261－6711（代表）

仕事のこと、
病院で相談しましたか？



治療しながら働くことを応援する

治療と仕事の両立支援

厚生労働省
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

治療と仕事の両立支援ナビ ポータルサイト
https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/

治療　両立ナビ　検索

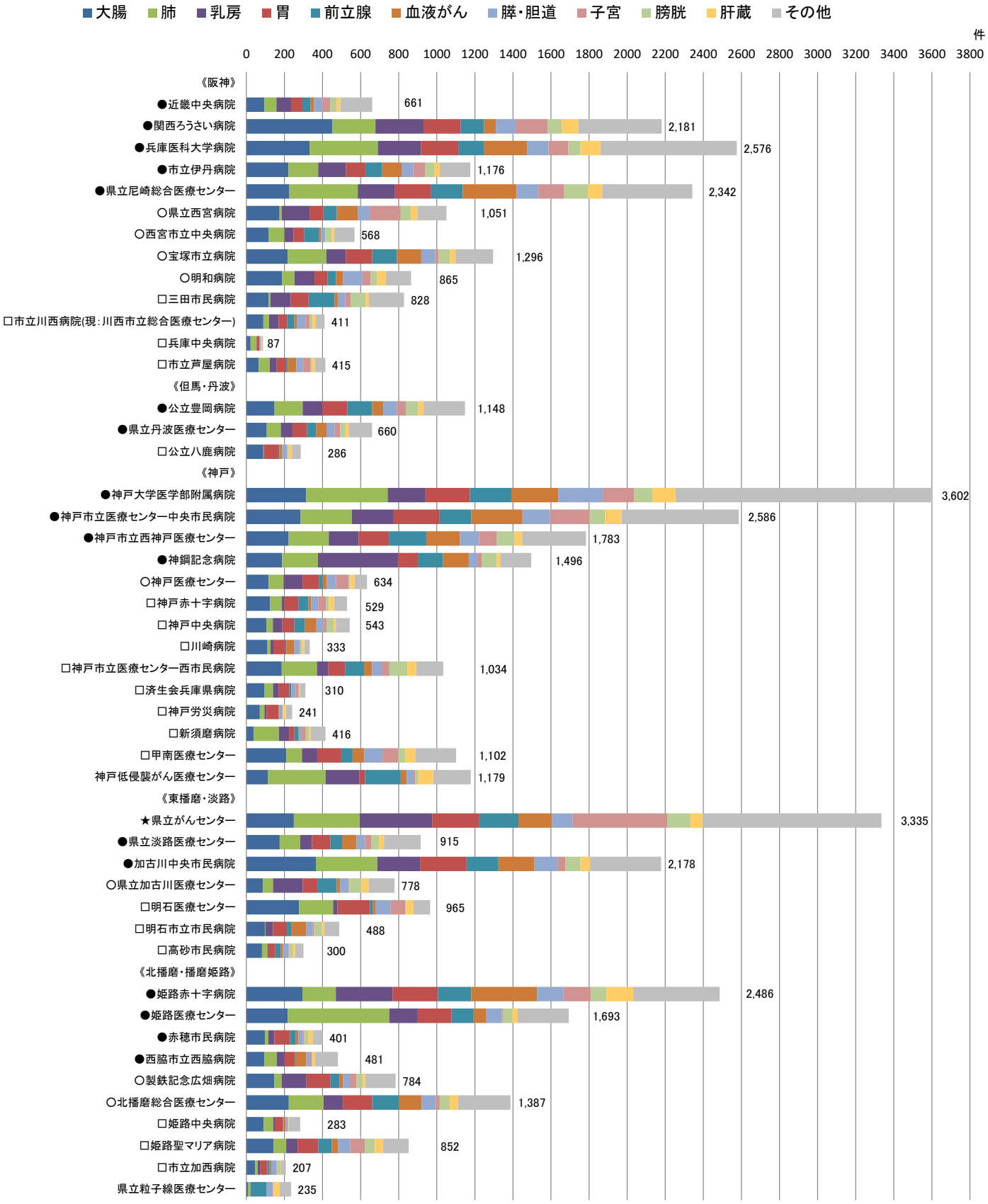
兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項　目	内　容
令和4年度の活動報告	○ がん診療連携協議会　がん登録部会の開催 開　催　日：6月28日（Web開催） 議　　事：院内登録の提出方法について 今年度の院内がん登録収集と実務者研修・認定試験予定 院内がん登録　全国収集データの活用体制 院内がん登録における「オプトアウト状況」の項目追加　等 参　加　者：45施設 53名参加 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 ・第1回院内がん登録実務者ミーティング 開　催　日：11月14日（Web開催） テ　ー　マ：膵臓・胆嚢・胆管の解剖、UICC TNM病期分類について 講　　師：国立がん研究センター　がん対策研究所　がん登録センター　院内がん登録室 江森　佳子 氏 参　加　者：65施設 136名参加 ・第2回院内がん登録実務者ミーティング 開　催　日：2月3日（Web開催） テ　ー　マ：兵庫県がん診療連携協議会HP公表案について　　※「別表」参照 （集計結果は「兵庫県がん診療連携協議会」HP内のがん登録情報として公表予定） 院内がん登録運用・活用状況について 参　加　者：40施設 74名参加 ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会　がん登録部会への参加 開　催　日：4月27日　国立がん研究センター（Web開催） 報告事項：がん登録部会設置要領の改正、院内がんの提出方法活用について　等 議　　事：院内がん登録全国集計データの活用提供について　等 ＊ 全国がん登録実務者研修会の開催 開　催　日：9月21日～10月31日（動画配信） テ　ー　マ：全国がん登録の届出実務～ケースファンディングから品質管理まで～ 講　　師：国立がん研究センター　がん対策研究所 国際政策研究部長　松田　智大 氏 視聴回数：301回
令和5年度の活動計画及び今後の検討課題等	○ がん診療連携協議会　がん登録部会の開催 6月開催予定 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 年2回開催予定（講義形式（11月）、院内がん登録数集計報告等（2月）を予定） ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会　がん登録部会への参加 開催時期未定 ＊ 全国がん登録に関する研修会の開催 開催時期、内容未定

別表

兵庫県がん診療連携協議会協議会HP 院内がん登録情報
2020年症例　施設別　部位別がん登録件数（公表案）

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

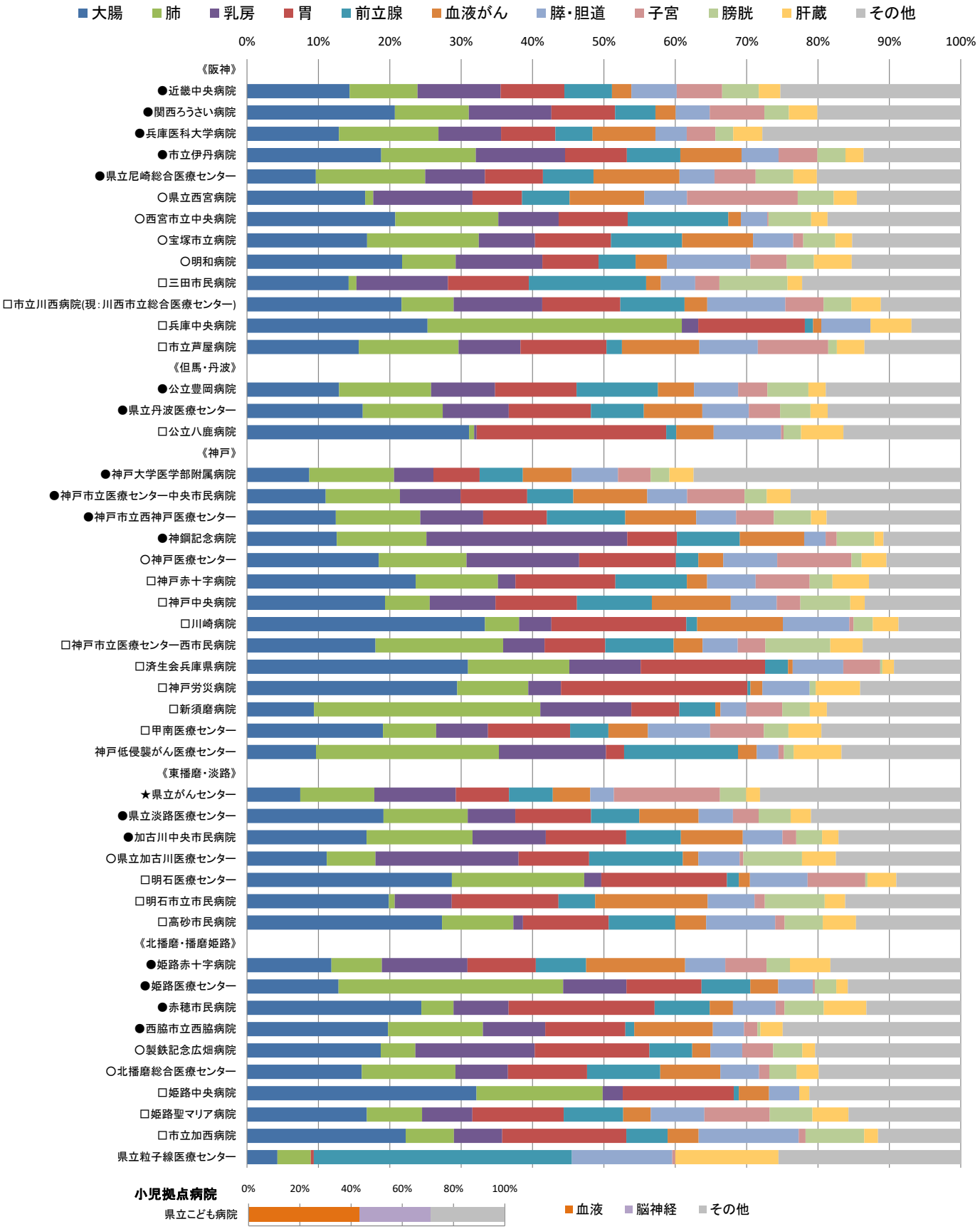


幹事会資料

別表

兵庫県がん診療連携協議会協議会HP院内がん登録情報
2020年症例　施設別　部位別がん登録割合（公表案）

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院



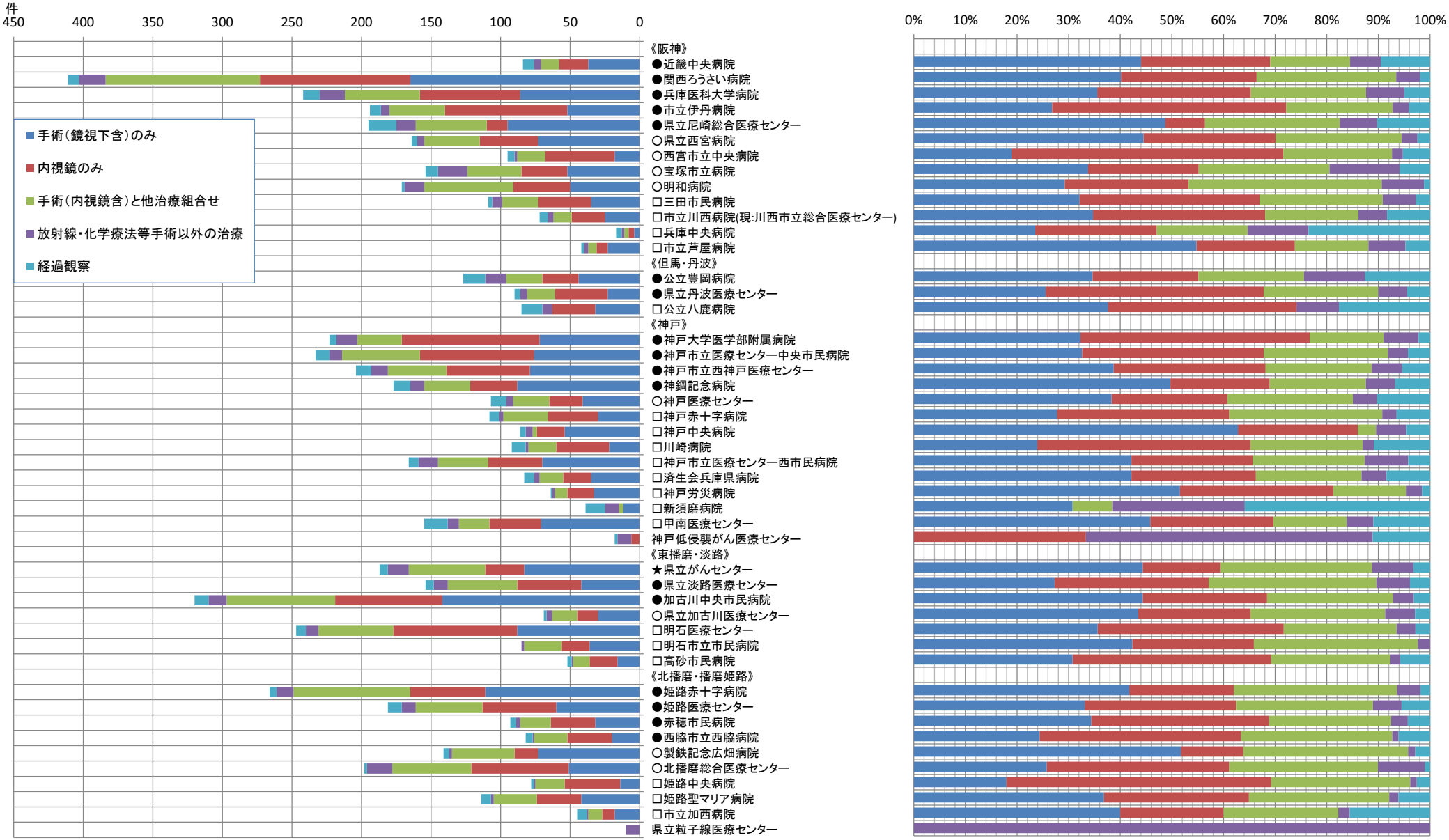
幹事会資料

2020年症例　大腸癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合（全病期）公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計=6,329件
手術（鏡視下含）のみ=2,355件
内視鏡のみ=1,787件
手術（内視鏡含）と他治療組合せ=1,493件
放射線・化学療法等手術以外の治療=370件
経過観察=324件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表



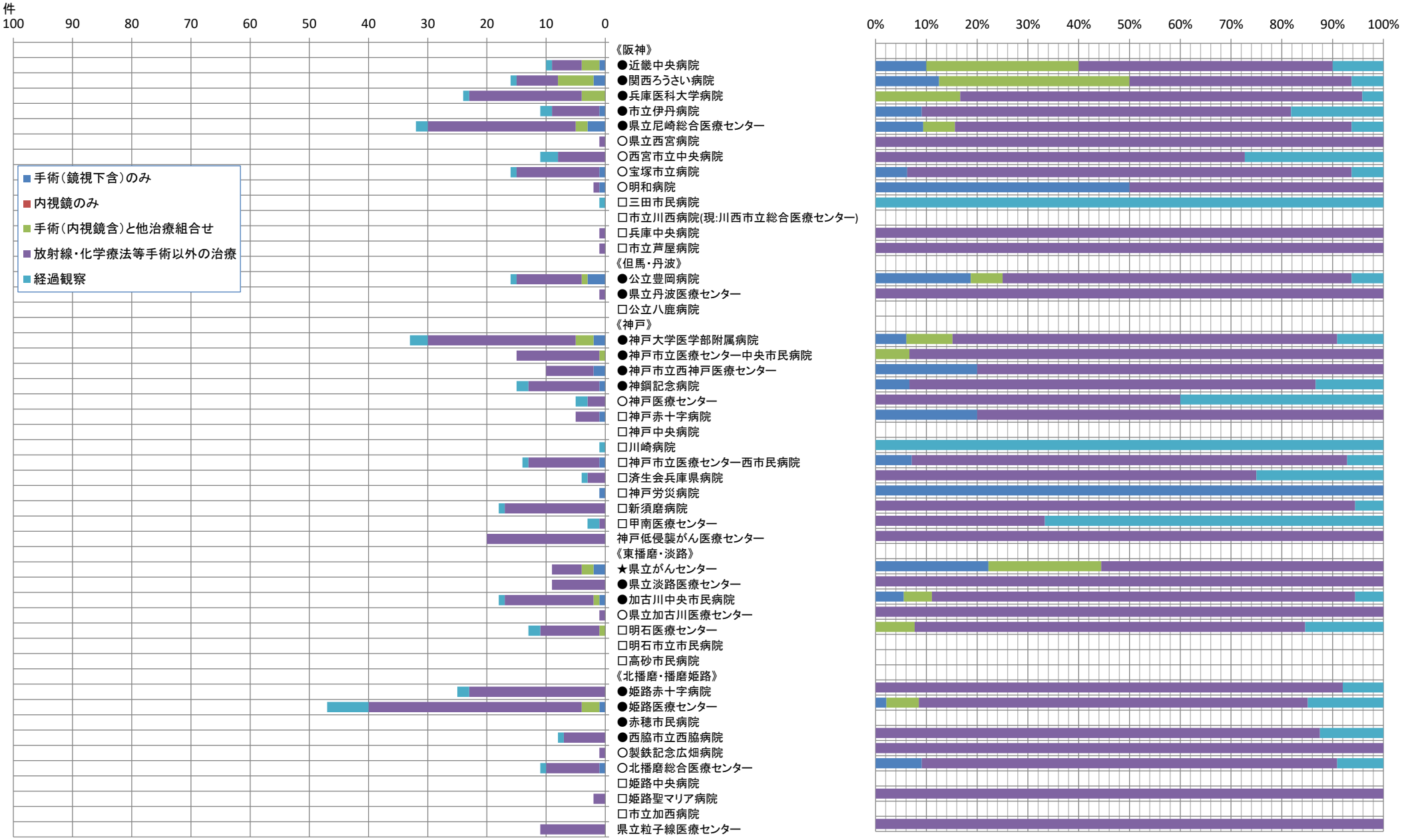
幹事会資料

2020年症例　小細胞肺癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合（全病期）公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計=442件
手術（鏡視下含）のみ=25件
内視鏡のみ=0件
手術（内視鏡含）と他治療組合せ=27件
放射線・化学療法等手術以外の治療=350件
経過観察=40件

別表

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

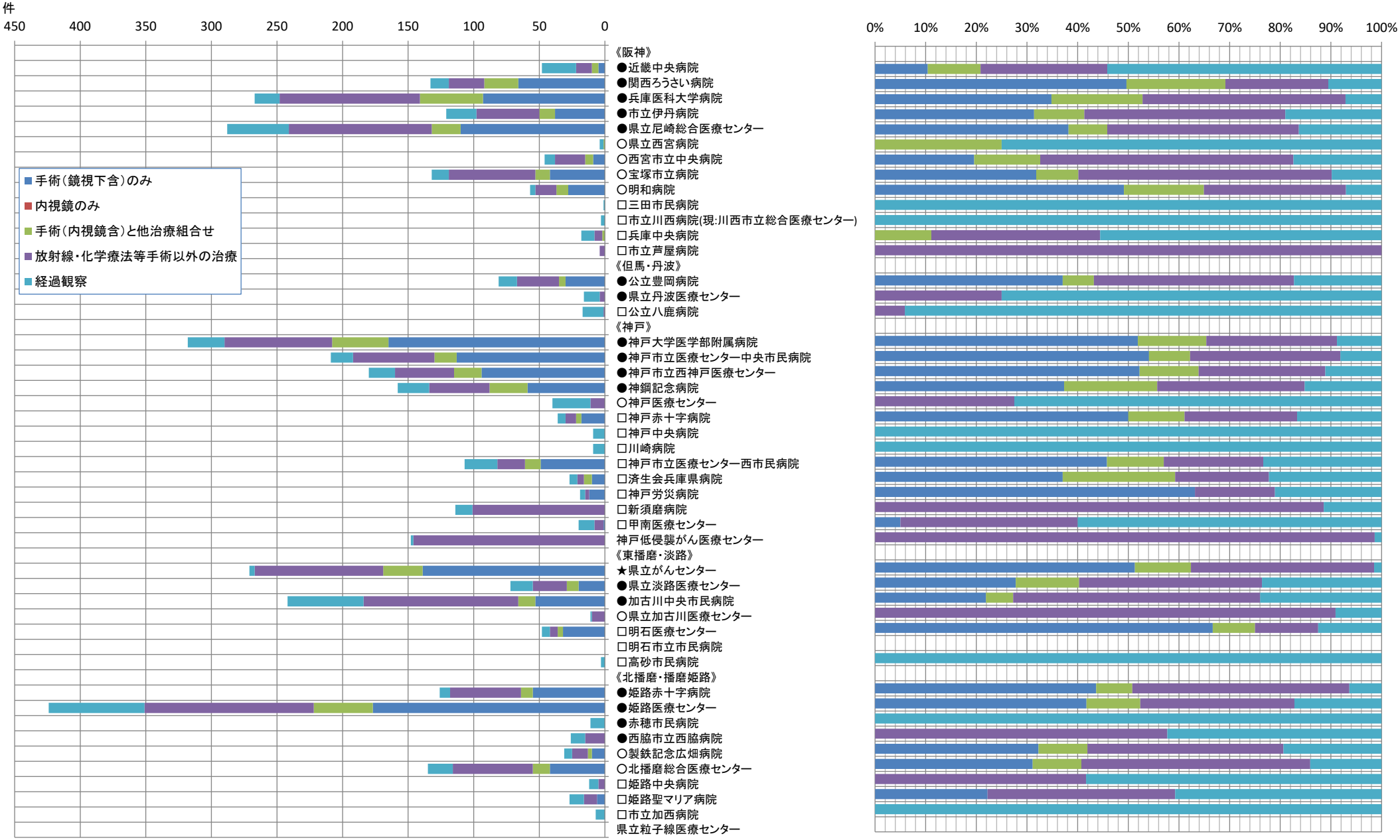


2020年症例　非小細胞肺癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合（全病期）公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計=4,076件
手術（鏡視下含）のみ=1,476件
内視鏡のみ=0件
手術（内視鏡含）と他治療組合せ=405件
放射線・化学療法等手術以外の治療=1,536件
経過観察=659件

別表

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院



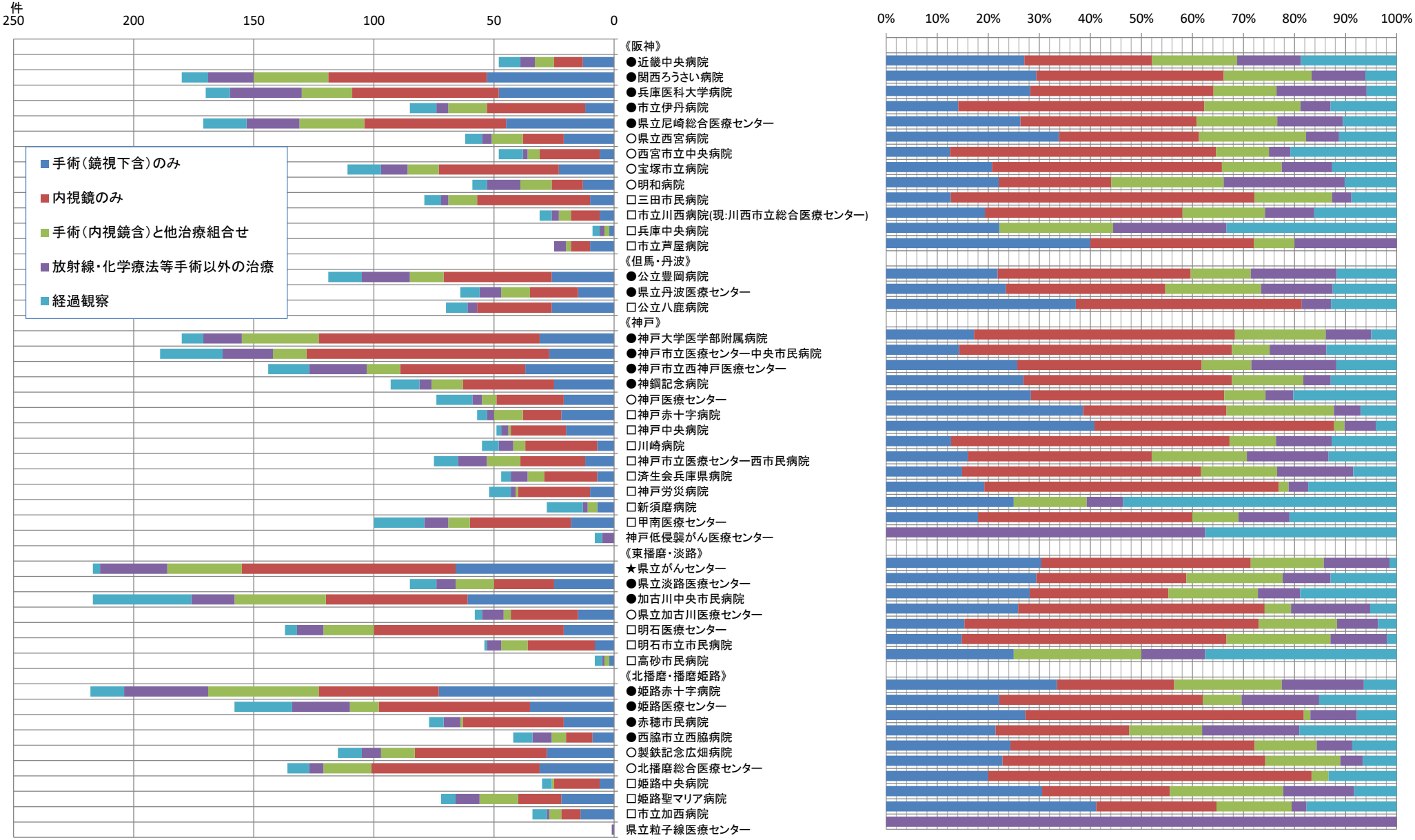
幹事会資料

2020年症例　胃癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合（全病期）公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計=4,141件
手術（鏡視下含）のみ=1,010件
内視鏡のみ=1,652件
手術（内視鏡含）と他治療組合せ=569件
放射線・化学療法等手術以外の治療=460件
経過観察=450件

別表

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院



幹事会資料

兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項　目	内　容
令和4年度の活動報告	○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会　第10回緩和ケア部会 （令和4年12月9日 Web開催） ○ 兵庫県がん診療連携協議会　緩和ケア部会 （年4回開催　Web開催:6月23日、9月8日、12月8日、2023年3月9日（予定）） ○ 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査（9月） HPに今後公開予定 ○ 令和4年度緩和ケアフォローアップ研修会の開催 （令和4年12月11日12時～16時15分 Web開催） 参加者:42名（医師31名、看護師10名、薬剤師1名） ○ 第13回兵庫県緩和ケアチーム研修会　　神戸市立西神戸医療センター担当 （令和5年1月15日 Web開催）　22施設67名参加 ○ 令和4年度緩和ケア研修会指導者の会　（令和5年2月2日 Web開催） ○ 緩和ケアチームピアレビューの実施 （令和5年年2月24日Web開催予定　関西労災病院が対象施設） ○ 緩和ケア部会運営事務局会議 （毎月第1金曜日　Web開催:令和4年7月8日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日開催） ○ 緩和ケア研修会の開催(各施設で開催)
令和5年度の活動計画及び今後の検討課題等	○ 都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会　緩和ケア部会（未定） ○ 兵庫県がん診療連携協議会　緩和ケア部会 （年4回開催予定:5月、8月、11月、2024年2月　Web開催予定） ○ 緩和ケア研修会の開催　4月HP掲載予定 ○ 緩和ケア部会運営事務局会議　（毎月第1金曜日17:30～18:30　Web会議） ○ 小集団活動の運営 ○ 第14回兵庫県緩和ケアチーム研修会　加古川中央市民病院　担当（未定） ○ 緩和ケアフォローアップ研修会の開催　（未定） ○ 緩和ケアチームピアレビューの実施　（未定） ○ 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査（未定） ○ 緩和ケア研修会指導者の会　（未定）

令和４年度 第１回 緩和ケア部会議事録

日　時	令和４年６月 23 日（木） 14:00～15:00	場所	Zoom 会議
出席者	県立はりま姫路：坂下部会長、神戸中央市民：西本副部会長、 加古川中央市民：西澤、市立伊丹：前田、がんセンター：木村・伊藤、 神鋼記念病院：山川、関西労災病院：堀、近畿中央病院：合屋、赤穂市民：久保川、 姫路赤十字；福永、姫路医療センター：永濱、兵庫医大：乾、西脇市立病院：木村、 神戸市立西神戸医療センター：安藤、神戸大学：山口、 尼崎総合医療センター：吉住 県立西宮：福永、県立加古川医療センター：酒井、神戸医療センター：宮崎 北播磨総合医療センター：山名、濱中、明和病院：泉田、三田市民：田中 神戸中央病院：三田、川崎病院：飯田、神戸市立医療センター西市民：姜、 市立川西：林谷・小牧、明石医療センター：丸山、姫路聖マリア：高橋、 済生会兵庫：廣吉、市立芦屋：松田、神戸低侵襲：大林、 県立はりま姫路：北山 宝塚市立：岡山 欠席者：県立淡路医療センター、公立豊岡、県立丹波医療センター		
主な内容	1.　緩和ケア部会の活動報告 資料１参照 資料に沿って、昨年度の活動内容について報告された 2.　緩和ケア部会の運営方法について 令和４年度緩和ケア部会活動計画について説明された 今年度の部会運営に関する基本方針→部会を活性化させたい、 小集団（SG）について 国指定病院の 18 施設はSG に必須参加して頂きたい、こども病院も加わる SG １：緩和ケアチーム研修会：リーダー：岡山　今年度、次年度の開催病院の西神戸・安藤、加古川中央市民・西澤が参加 SG ２：緩和ケアフォローアップ研修会：リーダー：伊藤 SG ３：緩和ケア研修会：リーダー：坂下 SG ４：緩和ケアチームピアレビュー：リーダー西本・堀 SG ５：インターベンショナル治療：リーダー：福永・濱中 質疑応答 ・14 時からの会議は厳しい→「部会の活動として時間内で会議を開催したい。日常業務の		

	中で難しいことは理解しているが、働き方改革もあり、各施設でご理解頂けるように幹事会でも承認頂いた ・緩和ケア外来や緩和ケア病棟への紹介について、病院独自ではなく県全体で把握していくべきではないか→今後、取り組んでいきたい ・市立川西病院からのご意見 ９月から病院移転に伴い、体制が変わるため今後の緩和ケアチームの活動が不透明。担当医師も変わり、新しい担当医が決まっていない。今後活動が継続できるか不明なので、今年度の活動には参加できない。決まり次第ご連絡させていただく。 部会長より SG の希望について確認した。配属Ｇに関しては、運営事務局に一任して頂きたい。 部会員の参加が困難な場合は、施設の方に代理参加頂く。キックオフ後、活動開始する 3.　その他 次年度（2023 年（R5）の緩和ケアチーム研修会の担当について 未開催の国指定拠点病院の中は尼崎、神鋼、西脇、加古川中央市民の 4 病院の中から、加古川中央市民病院が決定され、承知された。 2024 年（R6）年度は、県立尼崎総合医療センターが主幹となった。 今後の予定 ・　6 月 30 日まで SG の募集を募る→7 月上旬に通知される ・　運営事務局は毎月第一金曜日に会議を開催し、進捗を共有する ・　SG のキックオフの時期であるが、次回 9 月の部会会議までに、 SG で活動 ・　次回会議は、９月８日（木）14 時～zoom 会議
次回開催予定	令和 4 年 9 月 8 日（木）14 時～zoom
決定事項	・　6 月 30 日まで SG の募集を募る→7 月上旬に通知される ・　2023 年（R5）の緩和ケアチーム研修会の担当：加古川中央市民病院 ・　2024 年（R6）の緩和ケアチーム研修会の担当：県立尼崎総合医療センター
運営事務局での調整が必要な事項	・SG で集合する際の招聘状の作成は可能か検討頂きたい ・SG で集合する際のメールアドレスの個別周知
SG での検討を求める事項	なし

（※すべて、敬称略）

令和４年度 第２回 緩和ケア部会議事録

<table>
<tr><td>日　時</td><td>令和４年９月８日（木）
14:00～15:00</td><td>場所</td><td>Zoom 会議</td></tr>
<tr><td>出席者</td><td colspan="3">県立はりま姫路総合医療センター：坂下部会長、神戸中央市民：西本副部会長、
神戸市立西神戸医療センター：安藤、県立尼崎総合医療センター：吉住
加古川中央市民病院：西澤、阪井、梶原、東、白井
近畿中央病院：合屋、赤穂市民病院：久保川、市立伊丹病院：前田、
姫路医療センター：永濱、橋本、公立豊岡病院：城山
関西労災病院：堀、兵庫医科大学病院：乾、　がんセンター：木村・伊藤、
姫路赤十字：福永、、県立淡路医療センター：堂國
西脇市立病院：木村、県立西宮病院：福永、
宝塚市立病院：岡山、県立はりま姫路総合医療センター：北山
北播磨総合医療センター：山名、濱中、市立芦屋病院：松田、
明石医療センター：丸山、県立こども病院：関口
＜欠席＞
神鋼記念病院、神戸大学医学部附属病院、西宮市立中央病院
明和病院、神戸医療センター、県立加古川医療センター、県立丹波医療センター
三田市民病院、市立川西病院、兵庫中央病院、神戸中央病院、川崎病院、
神戸市立医療センター西市民、神戸海星病院、神戸労災病院
済生会兵庫、新須磨病院、神戸赤十字病院、甲南医療センター：
明石市立市民病院、高砂市民病院、市立加西病院、姫路中央病院、姫路聖マリア
公立八鹿病院、神戸低侵襲：</td></tr>
<tr><td>主な内容</td><td colspan="3">1.　小集団活動の進捗状況
①　SG１：緩和ケアチーム研修会：リーダー：岡山
日程：2023 年１月 15 日（日）9：30 から 12：00 の予定　ZOOM 開催
テーマ：「心理的安全性の講義」
担当：神戸市立西神戸医療センター緩和ケア内科　安藤俊弘先生

②　SG２：緩和ケアフォローアップ研修会：リーダー：伊藤
日程：2022 年 12 月 11 日（日）13 時～16 時　オンライン開催
内容：SICP 講師：筑波大学 木澤先生
受講と広報に務めてください。

③　SG３：緩和ケア研修会：リーダー：坂下
今後の指導者の会の在り方について議論を行った</td></tr>
</table>

	【部会への検討事項】 ①緩和ケア研修会の実施報告については、指導者の会ではなく、部会会議にて報告を行うこと→承認された。よって、年度末に県より当部会にて報告をしてもらうこととなった ②指導者の会は継続について （松田委員）国の方針も変わるので、開催方法やスライドが変更されていることなどは指導者の会で共有できると良い ④　SG 4：緩和ケアチームピアレビュー：リーダー西本・堀 本年度中にパイロット的に開催する予定。神戸中央市民がピアレビューを受ける 関西労災・兵庫医大が実施する予定。 興味があり参加希望あれば、ご連絡をください。 ⑤　SG 5：インターベンショナル治療：リーダー：福永・濱中 今年度は拠点病院の指定要件にも含まれており、現状と連携病院を一覧で確認したが、今年度は兵庫県がん診療連携協議会のＨＰに掲載を目標とする。 9 月末をめどに ML にて Google アンケートを配信予定。 自施設の IVR の状況について、回答をお願いします。 2.　次年度の緩和ケア部会活動について ①松田部会員より）※下記資料参照 指定要件に掲載された拠点病院の「緩和ケアを行っている診療所と緩和ケア病棟のリストのマッピングについて」は、部会が行ってくれないか各病院で行うのか、部会で行うのか議論して頂きたい →緩和ケア部会、地域連携部会が連携するのではないか（松田部会員） →情報連携部会の相談業務の一環として必要だと考えている（伊藤部会員） →がん拠点の要件については事務と分担して行っている。部会マターではなく、事務で対応できる案件はそこに任せたい（堀部会員） →受け手側は一つ一つ問われることに対応が困難。まとめた場合は、誰が管理するかという問題が起こる（岡山部会員） →2 次医療圏でまとめて合体させてはどうか。国拠点病院は 2 次医療圏でマッピングしなさいということなので、そこを押さえていけば良いのではないか。2 次医療圏で情報を収集し、他圏域から情報を求められた場合に、提示できれば良いのではないか。（松田部会員） →各医療圏でコミュニケーションをしっかりとっていくことが大事だろう。情報共有できる関係性を築くことから始める。部会活動とはせず、各施設が作成マッピングなども ML を活用し共有していきましょう。（部会長）

	参考) 当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討する場を年１回以上設けること。また、緩和ケアチームが地域の医療機関や在宅療養支援診療所等から定期的に連絡・相談を受ける体制を確保し、必要に応じて助言等を行っていること。
次回開催予定	令和 4 年 12 月 8 日（木）14 時～zoom
決定事項	指定要件に掲載された拠点病院の「当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有」は、各病院で情報を作成し、ML 等を活用し、情報を交換することする。部会活動とはしない。
運営事務局での調整が必要な事項	
SG での検討を求める事項	なし

（※すべて、敬称略）

令和４年度 第３回 緩和ケア部会議事録

日　時	令和４年９月８日（木） 14:00～14:35	場所	Zoom 会議
出席者	県立はりま姫路総合医療センター：坂下部会長、神戸中央市民：西本副部会長、 神戸市立西神戸医療センター：安藤、県立尼崎総合医療センター：吉住 加古川中央市民病院：西澤、白井 赤穂市民病院：久保川、市立伊丹病院：前田、 姫路医療センター：永濱、橋本、公立豊岡病院：城山 関西労災病院：堀、兵庫医科大学病院：乾、　がんセンター：木村・伊藤、 姫路赤十字：福永、県立淡路医療センター：堂國 西脇市立病院：木村、県立西宮病院：福永、 宝塚市立病院：岡山、県立はりま姫路総合医療センター：北山 北播磨総合医療センター：濱中、 明石医療センター：丸山、県立こども病院：関口 JCHO 神戸：三田、加古川医療センター　酒井、済生会兵庫県病院　廣吉 ＜欠席＞ 神鋼記念病院、神戸大学医学部附属病院、西宮市立中央病院 北播磨総合医療センター：山名、市立芦屋病院、近畿中央病院 明和病院、神戸医療センター、県立丹波医療センター 三田市民病院、市立川西病院、兵庫中央病院、神戸中央病院、川崎病院、 神戸市立医療センター西市民、神戸海星病院、神戸労災病院 新須磨病院、神戸赤十字病院、甲南医療センター： 明石市立市民病院、高砂市民病院、市立加西病院、姫路中央病院、姫路聖マリア 公立八鹿病院、神戸低侵襲：		
主な内容	1.　小集団活動の進捗状況 ①　SG１：緩和ケアチーム研修会：リーダー：岡山 日程：2023 年１月 15 日（日）9：30 から 12：00 の予定　ZOOM 開催 テーマ：「チーム力を高める」 担当：神戸市立西神戸医療センター緩和ケア内科　安藤俊弘先生 申し込み締め切りは、令和４年 12 月 19 日（月） 各施設ごとでの参加を依頼している。 ②　SG２：緩和ケアフォローアップ研修会：リーダー：伊藤 日程：2022 年 12 月 11 日（日）13 時～16 時　zoom で開催される		

	内容：SICP 講師：筑波大学 木澤先生 準備が整っており、今週日曜日に開催される。 ③ SG 3：緩和ケア研修会：リーダー：坂下 兵庫県緩和ケア研修会指導者の会の開催日を決定した。 2023 年 2 月 2 日 18 時～zoom で開催予定。 2023 年 1 月 25 日 12 時で申し込みを締め切る予定 募集を開始する予定。 ④ SG 4：緩和ケアチームピアレビュー：リーダー西本・堀 パイロット的に開催する予定。受審は関西労災病院。事務局を兵庫医大が実施している。 2023年2月24日（金）12時45分～17時に開催する予定。 内容を今後、部会で共有して頂く。 オブザーバーでの参加希望者は、堀先生までご連絡して頂く ⑤ SG 5：インターベンショナル治療：リーダー：福永・濱中 「インターベンショナル治療の現状調査」を実施した。 アンケート結果を、がん診療連携協議会へのホームページに掲載予定。 2. 次年度の緩和ケア部会活動について ・今年度は国拠点だけが小集団活動を行っていたので、国拠点以外の施設も参加を促していく ・緩和ケアチーム研修会は継続 ・フォローアップ研修会は、開催後に次年度の運用を考える ・ピアレビューに関しては次年度に拡大予定 ・インターベンションは、情報の更新について等のシステム構築必要
次回開催予定	令和 5 年 3 月 9 日（木）14 時～zoom
決定事項	3 月の部会までに、次年度に向けて緩和ケア部会活動について、取り組みたい内容について意見をください。
運営事務局での調整が必要な事項	なし
SG での検討を求める事項	なし

（※すべて、敬称略）

2022 年度　緩和ケアフォローアップ研修会　議事録

<table>
<tr><td>日　時</td><td>令和４年１２月１１日（日）１２時～１６時１５分</td><td>場所</td><td>Zoom 会議</td></tr>
<tr><td>運営者
講師</td><td colspan="3">運営）久保川、合屋、前田、小森、伊藤
　　緩和ケア部会長坂下、副部会長西本（敬省略）
講師）筑波大学　木澤義之先生</td></tr>
<tr><td>主な内容</td><td colspan="3">研修会テーマ：重篤な疾患を持つ患者さんと治療とケアの目標を話し合う
講師：筑波大学　木澤先生
参加者：合計４２名（医師３１名、看護師１０名、薬剤師１名）
◆タイムスケジュール
12 時～12 時 30 分　直前打合せ
　　欠席者情報の確認（事前連絡 6 名、当日無断欠席 4 名）
　　グループ調整
　　研修会の流れとファシリの役割再確認
12 時 30 分～13 時　受付
13 時～16 時 05 分　研修会
16 時 05 分～16 時 15 分　振り返り
◆概要
・研修会はタイムスケジュール通り、開催できた。活発な質疑応答がなされ、非常に積極的な研修となった（Q&A 詳細は別紙参照）
・欠席時は必ず連絡するようアナウンスしていたが、当日 5 名が無断欠席となり、開始後、ペア分け、ブレイクアウトルームの再設定を行った。
・資料やメイルが届かないなどのトラブルが起こり、開催直前まで何度もメイルでやり取りした。原因は携帯アドレスでの登録であった（10 名弱）。また、連絡に反応がない参加者が、開催 30 分前にがんセンターに電話、問い合わせたため、当直師長や休みの職員など他部門も巻き込むこととなった。<u>次回から、参加決定通知はもう少し早く送る、ファイルを受理できるメイルアドレスを用いることを明記する、協議会への連絡は必ず平日にする、研修会の開催要項を協議会ＨＰ、FACEBOOK などに掲載し情報拡散しやすいようにする、当日を含めた緊急連絡先をもう少し強調するなど、周知に工夫をする</u>
・配布資料は必ず印刷して手元に置くことを伝える
・研修当日、運営スタッフは各ブレイクアウトルームを回り、ZOOM 操作のテクニカルサポートを行った。スタッフが少なく、部会長、副部会長に協力いただけ、問題なく対応できた。
◆グループ定例会議
12 月 28 日（水）17 時～司会）赤穂市民病院　久保川先生
　　書記）近畿中央病院　合屋先生、小森さん</td></tr>
</table>

2022年度　第13回兵庫県緩和ケアチーム研修会　報告書

<table>
<tr><td>日　時</td><td>令和5年1月15日（日）9時30～12時</td><td>場所</td><td>Zoom会議</td></tr>
<tr><td>担当
講師</td><td colspan="3">運営）神戸市立西神戸医療センター
講師）ツカザキ病院 眼科 広島大学 医療のためのテクノロジーとデザインシンキング 寄附講座教授 田淵 仁志先生</td></tr>
<tr><td>主な内容</td><td colspan="3">研修会テーマ：「チーム力を高める」
司会：神戸市立西神戸医療センター　緩和ケアセンター長 安藤 俊弘先生
参加者： 22病院67名参加。欠席は1名（連絡あり）

本日の内容
9時30分～9時35分
開会の挨拶
緩和ケア部会長
兵庫県立はりま姫路 総合医療センター 緩和ケアセンター長 坂下 明大
9時35分～10時35分
講演：
・ツカザキ病院 眼科 広島大学 医療のためのテクノロジーとデザインシンキング 寄附講座教授 田淵 仁志先生
「何よりも基本は心理的安全～手術室医療安全の実例に基づいて～」
10時45分～11時55分
・兵庫県立はりま姫路 総合医療センター 緩和ケアセンター長 坂下 明大先生
「ＰＤＣＡ サイクル」
・PDCAサイクルの講義
・自施設のPDCAサイクルについてグループディスカッション
・以下のグループに分かれてピアレビューを実施した
①　明和　JCHO神戸　　②　赤穂市民　関西労災
③　北播磨　加古川中央　　④　近畿中央　中央市民
⑤　姫路医療　市立芦屋　　⑥　神戸大学　姫路赤十字
⑦　市立伊丹　西脇　　⑧　県立加古川　兵庫医大
⑨　県立淡路　はりま姫路　　⑩　県立尼崎　がんセンター
⑪　県立西宮　丹波　　（施設名称は略）
11時55分～12時
閉会の挨拶：神戸市立西神戸医療センター　緩和ケアセンター長 安藤 俊弘先生</td></tr>
</table>

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項　目	内　容
令和4年度の活動報告	○ がんパスの使用状況につき検討した。令和4年3月末時点におけるアンケート調査を行い、乳がん4,724件、胃がん2,562件、大腸がん1,905件、肺がん1,248件、肝臓がん109件、子宮体がん6件 、前立腺がん833件 、累計11,387件の地域連携パス利用があった。 ○ 各がんの地域連携パスを見直し、修正を進めた。
令和5年度の活動計画及び今後の検討課題等	○ がんパスの各施設での導入・使用状況を各部会ごとに検討する。 ○ がん地域連携パスの運用上の問題点を抽出する。 ○ がん地域連携に関する問題点を抽出し対応を検討する。

＜大腸がん地域連携パスの改訂について＞

【大腸がん（術後経過観察）パス：連携ノート】

・「大腸がんの進行度」を大腸がん取り扱い規約第9版に合わせて修正 （図１）
・ 大腸がんのステージ分類表を追加 （図１）
・「推奨される治療法」を大腸がん治療ガイドライン2022版に合わせて修正 （図１、図２）
・「手術について」アプローチ方法に「ロボット支援下手術」を追加 （図３）

【大腸がんESDパス：連携ノート】

・「大腸がんの進行度」を大腸がん取り扱い規約第9版に合わせて修正（図４）

図２

ステージⅢ
再発率は30.8%で、3-6か月間の抗がん剤治療が推奨されています。
3か月ごとの腫瘍マーカー検査、6か月に一度のCT 、術後1年後、3年後の大腸内視鏡検査等の検査が推奨されます。

＊直腸がんの場合は術後2年後の大腸内視鏡検査も推奨されます。

図１

大腸がんの進行度

病期の進行度は手術所見と切除された大腸とリンパ節の病理結果から決定されます。

あなたの結果は
- 組織型（分化・未分化）型
- 深達度（Tis, T1a, T1b, T2, T3, T4a, T4b）
- リンパ節転移（N0・N1・N2・N3）
- ステージ（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲa・Ⅲb ・Ⅲc ）

治療法は以下のようになります。

ガイドラインで推奨される治療法

ステージⅠ	手術のみ
ステージⅡ	手術（＋抗がん剤）
ステージⅢ	手術＋抗がん剤

大腸がんのステージ分類

遠隔転移		M0				M1		
						M1a	M1b	M1c
リンパ節転移		N0（リンパ転移無）	N1 N1a/N1b（1～3個の転移）	N2a（4～6個の転移）	N2b，N3（7個以上）（主リンパ節転移）	Nに関係なく		
壁深達度	Tis（粘膜内に留まる）	0						
	T1a・T1b（粘膜下層に留まる）	Ⅰ	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲc	Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc
	T2（固有筋層に留まる）							
	T3（固有筋層を越える）	Ⅱa						
	T4a（漿膜表面に露出）	Ⅱb						
	T4b（他臓器に浸潤）	Ⅱc						

6

図４

大腸がんの進行度

病期の進行度は手術所見と切除された大腸と脈管侵襲の病理結果から決定されます。

あなたの結果は
- 組織型（分化・未分化）型
- 深達度（Tis, T1a, T1b）
- 脈管侵襲（LyO・Ly1・VO・V1）
- 蔟出（BD1・2・3）
- ステージ（O・Ⅰ）

図３

手術について

手 術 の 日	年 月 日
アプローチ	□ 開腹 □ 腹腔鏡 □ ロボット支援

＜乳がん地域連携パスの改訂について＞

【歯科医との連携】

・「連携ノート（患者用）」「説明文（医師用）」それぞれの「決定した連携医療機関の一覧」に「かかりつけ歯科医」の項目を追加　（図１）

【説明文、計画書（医療者用）の改訂箇所】

・説明文中、拠点病院での定期受診の目途を術後「5年目」から「10年目」に修正

・「患者情報」の記載について、術後病理結果など治療方針決定に必要な項目を修正、薬剤処方はジェネリック薬品が増えているので、商品名から一般名に変更　（図２）

・連携計画書中、「診察」項目の必要性を修正（「●必ず実施」に統一）、「処方」の薬剤名を一般名に変更、1～5年目の「その他」と枠外の注釈から「ハーセブチン」を削除　（図３）

【連携ノート（患者用）の改訂箇所】

・3ページ「手術について」、5～15ページ「連携計画書」を医療者用パスの改訂に応じて修正

図１

決定した連携医療機関の一覧

かかりつけ医

（電話　　－　　－　　）

調剤薬局

（電話　　－　　－　　）

訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等

（電話　　－　　－　　）

連携病院

（電話　　－　　－　　）

婦人科検診医

（電話　　－　　－　　）

骨密度検査実施医療機関

（電話　　－　　－　　）

かかりつけ歯科医

（電話　　－　　－　　）

○○○○病院

担当医　（　　）

（電話：　○○○－○○○－○○○○　地域医療連携室　）

図２

治療経過	手術日	（　）年（　）月（　）日		退院日	（　）年（　）月（　）日	
	月経状況	□閉経前	□閉経後　（　）歳頃に閉経			
	感染症	HBsAg（□陽性　□陰性）　HCVAb（□陽性　□陰性）　梅毒WaR（□陽性　□陰性）				
	原発部位	下図に記入				
	組織学的分類	□浸潤性乳管癌　□浸潤性小葉癌　□DCIS　その他（　）				
	TNM分類	T（　）N（　）M（　）				
	臨床病期	□0　□Ⅰ　□ⅡA　□ⅡB　□ⅢA　□ⅢB　□ⅢC　□Ⅳ				
	核グレード	□Grade1　□Grade2　□Grade3		Ki67　　%		
	組織的グレード	□Grade1　□Grade2　□Grade3				
	術式	□部分切除　□乳房全切除（□全摘　□乳頭温存）　一次乳房再建：□有　□無 □その他（　）				
	病理組織学的腫瘍径	（　×　）mm （断端：□＋　□－）　（乳管内進展：□＋　□－）　（脈管浸潤：□＋　□－）				
	腋窩リンパ節	センチネルリンパ節生検　□非実施　□実施　SLN（　/　） □腋窩リンパ節郭清実施　腋窩リンパ節転移（　/　）				
	化学療法	□術前　⇒レジメン（　）　期間：　年　月　～　年　月 □術後　⇒レジメン（　）　期間：　年　月　～　年　月				
	術後放射線療法	□非実施　□実施　⇒　Gy/　期間：　年　月　～　年　月 部位　□全乳房　□胸壁　□領域リンパ節				
	ホルモン受容体	ER　□陽性　□陰性　□非実施（□0　□1%未満　□1～3%　□10～49%　□50%以上） PgR　□陽性　□陰性　□非実施（□0　□1%未満　□1～3%　□10～49%　□50%以上）				
	HER2発現状況	IHC　□0　□1＋　□2＋　□3＋　□非実施 FISH　□陽性　□陰性　□非実施				
薬剤処方（スケジュール）	□リュープリン3.75（1M）（　年　月まで）　□リュープリンSR 11.25（3M）（　年　月まで） □ゾラデックス3.6（1M）（　年　月まで）　□リュープリンPRO 22.5（6M）（　年　月まで） 投与開始日：　年　月　日　最終投与日：　年　月　日					
	□タモキシフェン（　年　月から）　□トレミフェン（　年　月から） □アスナトロゾール（　年　月から）　□エキセメスタン（　年　月から） □レトロゾール（　年　月から）　□ベージニオ（　年　月から） □リムパーザ（　年　月から）					
	□ハーセブチン（　年　月まで）　投与開始日　年　月　日　最終投与日　年　月　日 □パージェタ（　年　月まで）　投与開始日　年　月　日　最終投与日　年　月　日 □カドサイラ（　年　月まで）　投与開始日　年　月　日　最終投与日　年　月　日 □キートルーダ（　年　月まで）　投与開始日　年　月　日　最終投与日　年　月　日					
	□その他（　）					

図３

患者氏名　　様

計画策定病院（A）：○○○○病院

連携医療機関（B）：

		施設	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	○○○○病院
		手術から	年			
			3カ月後	6カ月後	9カ月後	12ヶ月後
		不要な部分は斜線	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
達成目標	術後連携によるフォローアップ					
	ホルモン療法の完遂					
	術後後遺症、副作用、再発の発見					
診察	問診		●	●	●	●
	視触診	手術日	●	●	●	●
	患側上肢の観察	（　）年	●	●	●	●
検査	マンモグラフィ（1年毎）	（　）月				●
	乳腺エコー（温存）	（　）日		□		●
	腹部エコー		症状があれ			
	胸部X線	退院日	症状があれ			
	CT	（　）年	症状があれ			
	骨シンチ	（　）月	症状があれ			
	腫瘍マーカー（CEA,CA15-3,その他）	（　）日		□		□
	末梢血一般			□		□
	生化学検査			□		□
注射	LHRHa □1ヶ月製剤	連携パスの説明日	□	□	□	□
		（　）年	この注射を打たれる場合は、毎月来院して注射します			
	□3ヶ月製剤	（　）月	□	□	□	□
	□6ヶ月製剤	（　）日	□	□	□	□
処方	□抗エストロゲン剤：タモキシフェン、トレミフェン		□	□	□	□
	□アロマターゼ阻害剤：アナストロゾール、レトロゾール、エキセメスタン		□	□	□	□
	□その他（　）		□	□	□	□
その他	婦人科検診（近隣へ）					□要　□不要
	骨密度					□要　□不要

●必ず実施します
□必要に応じて実施します

再発のない限り 上記スケジュールを54
上記の受診日はおおまかなめやすです